

6月19日：VN指数、市場心理が回復 (VN-Index +0.02%)

- 昨日から投資家心理は改善し、VN指数は上昇して取引を開始した。
- しかし、再び売り圧力が強まったことで、指数は徐々に下落していった。
- 水産物株や肥料株はわずかに上昇したものの、銀行や不動産などといった主要セクターの下げを支えることはできなかった。
- とはいえ、後場には情報技術セクターの上昇も加わり、指数は上昇に転じた。
- ただ、取引終了までその勢いを保つことはできなかった。
- 184銘柄が上昇、246銘柄が下落、71銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は取引後半に増し、15.9%増の25.9兆ドンとなった。

VN30指数は穏やかな変動 (VN-30 +0.33%)

- 大型株で構成されるVN30指数は、14銘柄が上昇し、14銘柄が下落、2銘柄が変わらずだった。
- 主な上昇銘柄は、FPT (+2.73%)、MWG (+1.77%)、PLX (+1.22%)、STB (+1.15%)、VPB (+2.15%)。
- 主な下落銘柄は、GVR (-1.03%)、SAB (-2.52%)、VIC (-1.43%)、VJC (-1.24%)、VRE (-2.13%)、TCB (-1.03%)。

セクター・個別株の動き

- KBC (-1.64%)の会長は年次総会にて、Trang Due 3 IPプロジェクトの補償金支払いに難色を示していることを明らかにした。
- DCM (+2.21%)は一株当たり2,000ドンの現金配当を発表した。
- 外国人投資家は1兆5130億ドンの売り越し。FPT (+2.73%)、VNM (-0.91%)、VPB (+2.15%)が主に売り越された。一方、HAH (+0.51%)、MWG (+1.77%)などの買い越し銘柄は少なかった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。